

昭和21年7月10日第3種郵便物認可

高校生の視点生かして

広報田辺 特派員に5人委嘱

田辺市は15日、市の広報紙「広報田辺」の紙面作りに参加する「まちかど特派員」に、市内の高校生5人を委嘱し

た。10代ならではの視点で地域の魅力を発信してもらう。任期は来年3月末まで。

広報田辺は月1回、3万5

千部を発行している。高校生の特派員は2017年度から、市内にある5校の生徒に委嘱。毎月1校ずつ順に登場し、取材や写真撮影、400字程度の原稿作成をする。

この日は市役所で委嘱式があり、真砂充敏市長が5人に委嘱状を手渡した。真砂市長は「あまり堅苦しく考えず、皆さんらしい視点でレポート

してほしい」と励ました。委嘱されたのは小川明日香さん(田辺工業2年)▽由谷胡桃さん(南紀3年)▽西希実さん(南部龍神3年)▽西脇美緒さん(田辺2年)▽伏見凜音さん(神島2年)。由谷さんは昨年度に続いての参加。

西脇さんは「田辺の魅力を



真砂充敏市長(右)から委嘱状を受け取る高校生

＝田辺市新屋敷町で

うまく文章で表すことができるか分からないが、頑張りたい」と抱負を述べた。5月号の掲載に向け、すでに地元的美容室で取材した西さんは「初めてだったので緊張したけど、楽しかった」と話した。